

120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	◆水明インターネット句会◆ 令和六年四月
茫洋とただひろびろと春の海	春泥や国連安保理機能せず	若葉風おにぎり二個分の散歩	教会へ続く坂道さくら道	惜春や共に帰れぬ君と在り	娘来て愚痴もにぎやか春夕べ	古伊万里を飽かず眺むる日永かな	咀嚼する牛の鼻先風光る	芝川の土手を余さぬ花菜かな	去年今年余命を超えて花見たり	花の塵ここにも一つバンクシー	春風やけふ改定の時刻表	道化師のパンツマイムや花の下	落花舞う左右にキャッチランドセル	子らの手に初めてのSuica駅四月	影向の如くかがよふ朝桜	選りぬきの役者競演春歌舞伎	異名なりうまのあしがた咲き誇る	ラファエロの若き自画像山笑ふ	花篝燃ゆる花卉の光かな	

																124	123	122	121
																春惜しむエディットピアフ映画会	「ノルウェーの森」読了す春夕焼	春潮や海軍基地を浮かせけり	白き指戦く吾に春の色

◆水明インターネット句会◆

令和六年四月